

今月号は、9月号に続いて花角英世新潟県知事の阿賀野市訪問時における視察各地での意見交換会の内容等について報告します。

「県と市のパイプ役」を果たしています!!

新潟県議会議員 帆苅 謙治

9月号に掲載したとおり、7日
16日、多忙を極める花角英世新潟
県知事に一口お付き合いをお願
いし、田中市長とともに阿賀野市
の各地を視察致しました。

今月号では、視察箇所における
意見交換会の内容等について報
告します。

花角知事　　国のGo-toキャンペーンは県単位の実施が望ましい。また、県内限定で宿だけではなく、民宿・合宿所・着地型ツアーナどにも支援を行い、地域活性化に力を入れていく予定。

角屋旅館(安永氏)

当旅館でのキャンペーン利用の内訳は、阿賀野市の割、新潟県1割であり、特に、高齢者には電話による予約が好評である。間に取扱代理店が入ると利用できないお客様、旅館があるので考慮してほしい。

「五頭温泉郷旅館
協同組合」での意見
交換会（意見要旨）

阿賀野市観光協会（荒木会長）

新潟県、阿賀野市様のご支援
により、少しずつ入込客も回復
している。今後も色々な形でご
支援を是非お願いしたい。

花角知事 取扱代理店を入れないと全県規模の事業化は困難です。また、旅行業者への支援も必要。 環翠樓(荒木氏) 隣県(山形、福島など)と連携してこのキャンペーンを予定しているのか。



五頭温泉郷の1つ 村杉温泉街



五頭温泉郷旅館協同組合のみな様との意見交換会

「安田瓦協同組合」での意見交換会（意見要旨）

瓦製造元からの仕事が5割、
自社で作製している置物が5割。誰にも好かれる「デザイン」を考え、SNS等で情報発信し、瓦に興味のない人も取り込みたい。

村山氏

機械で製造できない瓦を受注し製造している。できれば瓦の製造を主に仕事をしたい。ただし、置物を作る」とて消費者と直接つながるのはメリットである。

最盛期には27の製造元があつたが、今は地震による風評被害や住宅様式の変化で生産量は大きく減少しており、県の事業等で何とかしのいでいる。



安田瓦協同組合のみな様との意見交換会

県事業を活用し何とか経営している。職人は営業が苦手で情報発信力が弱い。

瓦ロードや瓦テラスができると消費者と直接話せるようになつた。集客につながる施設があればありがたい。

る。阿賀野市には県立の施設が
高校と警察しかない。この地域
を陶芸の里とし、県立の公園や
遊歩道整備のため県と市が連
携して進めてほしい。

雪氏 瓦テラスを2年前にオープンした。情報発信基地としたい。

焼物を使う人にいつも寄り添つて作ってきた。一大ブームの時と比較し、今は生産量が大きく減少している。

さらに、新型ウイルスの影響で経営が非常に厳しい。後継者問題もある

花角知事

それぞれの思いが伝わってきた。若い人が立ち寄りたくなる魅力のあるお店や仕掛けづくりができるのか。瓦と関係がなくともよい。施設を整備するだけでなく、人が来る仕組みづ

くりが大切。瓦テラスで子供たちの校外学習などもできる。

最後に、帆苅県議からご提案のあつた県立公園等の整備について、その趣旨は十分に理解できた。現状の財政難の折ではあるが、県としては市と連携しながら、できるところから進めてまいりたい。

「令和2年度新潟県産材の家づくり支援事業」について

新潟県産材を利用して住宅を新築・リフォームする建築主に対して、最大で54万円を支援しています。

このうち、県産瓦（安田瓦）しかありません）を使用した場合、12～20万円が補助されます。詳しくは、新潟県のHPをご覧ください。



瓦ロード沿いに設置された見事な安田瓦の置物

「JAささかみ」訪問の感想

「JAささかみ」では、県単独事業計画「水田の高度利用計画」に基づき、「えだまめ・麦・大豆」と「水稻・えだまめ・麦」の2年3作体系を平成30から開始している。これまで、地域住民の不安は大きい。

新潟県産材を利用して住宅を新築・リフォームする建築主に対して、最大で54万円を支援しています。このうち、県産瓦（安田瓦）しかありません）を使用した場合、12～20万円が補助されます。詳しくは、新潟県のHPをご覧ください。

「えだまめ」の品質判定装置



「JAささかみ」の関係者のみな様との意見交換

「安野川湛水防除事業」現場視察の感想

当地域は、阿賀野川右岸下流地域に広がり、地理的特性から湛水被害の常襲地となっている。大雨洪水警報が発令されるたびに、平成7年、平成10年の豪雨災害が思い起こされ、地域住民の不安は大きい。この夏、7月31日の大雨においても、安野川の水位は土手近くまで上昇したが、水の引きは非常に早く、これも湛水防除事業のお蔭によるものと思っている。



「安野川湛水防除事業」の進捗状況視察（百津橋上にて）

全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性！



家は生涯で最大の出費を伴う財産です。

市民の声 「家を新築・改築する時は屋根は安田瓦を」と一言

阿賀野市寺社 1級建築士 武石 明

全国各地、地場産業の活性化が直近の課題です。

阿賀野市には地元の資源

を活かした伝統産業が幾つ

もあります。そこで、家づくり

を専門職とする立場から「安

田瓦」の特性を紹介します。

屋根は建物の最上部で風

雨や雪、日射などの過酷な外

圧に耐えなければなりません。

それには、損傷しない強

度と劣化に対する性能が必

要です。

屋根工法を大別すると、鉄

板葺きと瓦葺きがあります。

近年の家づくりは地域の気

候風土に関係なく、鉄板の屋

根が目立ちます。

いよう、一枚ずつ全てを繋結

するガイドライン工法によ

り、安全対策は万全です。

「安田瓦」の発祥は190

年前に始まり、現在では最新

の機械化生産により品質管

理も万全です。

住む人の安全・安心と資産

価値の高い家が実現します。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他者への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
<http://www.hokaken.jp/>

◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。